

令和3年度 鹿児島工学院専門学校 学校関係者評価報告書

1. 日 時：令和4年5月30日（月） 13：00～14：30
2. 場 所：鹿児島工学院専門学校
3. 学校関係者評価委員出席者名簿

五十音順，敬称略

種 別	氏 名	所属／役職
業界関係者	今吉 耕己	今吉製茶有限会社／代表取締役社長
業界関係者	久保 辰八	株式会社久栄建設／代表取締役社長
業界関係者	高嶺 実樹雄	元市議会議員
業界関係者	田中 実	田中石油ガス株式会社／代表取締役社長

※欠席者なし

4. 議 事

1) 開会

2) 校長挨拶：村田校長

令和3年度卒業生について，資格取得状況および就職率等の報告を含め，挨拶。

3) 資料説明，令和3年度自己点検・評価報告：谷山教頭

4) 討議・意見交換について

各評価委員より，さまざまな視点からご意見・ご指摘をいただいた。

(1)教育課程・学習指導

○現在，各科の資格状況はどうなっているか？コロナなど社会情勢の変化で必要とする資格にも影響が出ているのか？（田中委員）

→電気技術工学科においては，取得すべき資格に変化はない。「第一種電気工事士」合格を目標とし，令和3年度卒業生については100%の合格率だった。

また，技術系国家公務員である警察庁技官に入職した学生が5名いるが，採用条件である「第一級陸上無線技術士」を取得するため，自発的に勉学に励んでいた。今後も，学生が意欲を持って学べるよう補講等を実施していく。（吉田）

→自動車工学科においては，南九州では唯一本校のみで学べる「一級自動車整備士」合格を目指し，1級課程に進む学生が増えつつある。電気自動車などの高度自動車整備について意欲的に学べる環境を整えている。（上野）

→建築デザイン学科・建築士専攻科においては，主に二級建築士および建築施工管理技士を目指している。令和3年度 建築士専攻科卒業生においては，二級建築士学科試験合格率は100%，設計製図試験合格率は81%と全国平均よりかなり高い結果となった。引き続き，分かりやすい授業を心掛けていく。（山本）

(2)生活指導

○社会人としてのマナーにも力を入れているようだが、具体的にどんな指導か？校則などもあるのか？（久保委員）

→いわゆる高校の校則のようなものはない。ただし、採用試験を受ける際の身だしなみを想定したチェック期間を設けている。（校長）

○アルバイト管理などはどうしているのか？（久保委員）

→社会勉強も必要と考え許可している。ただし、届を提出し勉強との両立を前提としている。（教頭）

(3)進路指導

○離職率は社会全体の問題だと思うが、工学院ではどのような対策を行っているか？（田中委員）

→各学科とも、校内での企業説明会の実施を積極的に行い、また、二者面談・三者面談を行いながら企業見学・インターンシップ等を奨励することで就職後のミスマッチが起こらないよう努めている。（校長）

(4)その他

○学校の立地として、通学手段はどのようになっているのか？（今吉委員）

→学生の5割強が自家用車・バイク、5割弱がスクールバスでの通学。（教頭）

→今後は、スクールバス利用者の多様化を考慮し、放課後の勉強に励む学生の利便性を高めるため下校時は本数を増やすなどの運行を検討している。（校長）

○学生の男女比をみると女子学生が少ないが、なぜか？（高嶺委員）

→現在、工業系の学科のみのためと考える。当学校法人内の高校からも学科の選択肢が少ないとの声があるため、女子学生のための学科も検討すべきと考えている。（校長）

○現行の施設設備で問題ないか？（高嶺委員）

→経年劣化の点も含め、トイレ等の改善を検討すべきと考えている。（校長）

5) 閉会

以上